



東京中央美容外科グループ代表の青木剛志氏、ネイルサロン展開のコンヴァノ<6574>にTOB



コンヴァノは12日、同社に対して美容クリニック「東京中央美容外科（TCB）」グループ代表の青木剛志氏がTOB（株式公開買い付け）を実施すると発表した。国内投資ファンドのインテグラル（東京都千代田区）がグループで保有する株式（所有割合47.14%）の取得が目的で、インテグラルはTOBへの応募契約を結んだ。青木氏は純投資の一環としてTOBを行うという。コンヴァノはTOBに賛同している。

買付予定数の上限は所有割合66.66%と3分の2未満とし、インテグラル以外の株主からの応募も受け付ける。株主がTOBに応募するか否かについてはコンヴァノとして中立の立場で、株主の判断に委ねるとしている。買付代金は最大7億5705万円。コンヴァノの東証グロース市場への上場は維持される。

買付価格は1株につき500円。TOB公表前日の終値506円を1.19%下回る（ディスカウント）。買付予定数の上限は151万4100株。買付予定数の下限はインテグラルの所有割合にあたる107万810株。買付期間は5月15日～6月9日。決済の開始日は6月16日。公開買付代理人は三田証券。

公開買付者の青木氏は美容外科医で、2014年にTCBの経営に乗り出した。2023年3月末時点で全国に85院を展開している。

コンヴァノはネイルサロンを「FASTNAIL」「FASTNAIL PLUS」「FASTNAIL LOCO」のブランドで直営59店舗（3月末時点）を運営する。新型コロナ感染拡大の影響で業績が大きく悪化したうえ、足元では人材確保や待遇改善に伴う費用増や原材料・エネルギーコストの上昇などが加わり、収益改善が遅れている。

同社は2014年にインテグラル傘下となり、2018年に東証マザーズ市場に上場（2022年4月に東証グロース市場に移行）。